



たきた敏幸県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

初当選し市民に感謝、故大野県議の遺志を継ぐ

■ 印西市特集 ■ 6月県議会一般質問



6月県議会ですべて初めて一般質問に立った瀧田敏幸県議

「千葉県は日本の縮図。印西と北総地域が良くなれば、印旛もよくなる。印旛が良くなれば千葉県、日本もよくなる」という連立方程式を掲げて、今春の統一地方選Ⅱ県議選に印西市選挙区から立候補して初当選を果たした瀧田敏幸(たきた・としゆき)県議(47歳)は、「当選は支持してくれた多くの市民の力であり、皆様の声や要望を県政で生かす」と地域のための活動を早くも展開しています。

誰よりもふるさと印西と千葉県を愛した先輩の故大野克己県議の遺志を継ぎ「志と政策」を継承していく決意を表しています。実家を訪ね6月県議会ですべて1期議員の先陣を切っています。一般質問に登壇することを報告しました。

地域で関心の高い「印旛高校の移転状況」「印西市への病院誘致」をはじめ、「成田新高速鉄道」「道路整備」「地域活性化」について提言・要望を取り入れながら県執行部を質しました。1、2面で質疑を特集します。

新生・印旛高校移転開校 22年度春、確実に実行を

瀧田 千葉県は日本の縮図である。その観点から、印西と北総地域が良くなれば、印旛も良くなる。印旛が良くなれば千葉県、そして日本も良くなるという連立方程式をしっかりと造って行きたいと思っています。

印旛がよくなれば千葉県が良くなるという考えのもと、質問します。

瀧田 印旛高校の平成22年4月の移転に向けての進捗状況はどうか。

教育長 千葉ニュータウン地域の特性を生かした魅力ある高校へ教育理念として

- ① 進学を重視した普通化の単位制高校
- ② 国際化に対応した高校
- ③ 地域の特性を最大限に活用して人材を育成する

高校

具体的には、新印旛高校開設準備室で教育理念に基づいた教育内容や教育課程について、現在検討を進めています。また、校舎整備は、平成18年度に基本設計、今年度は実施設計を行い、22年度に移転できるよう準備を進めています。

瀧田 リニューアルした新生・印旛高校として、開校が22年4月に、確実に実行されることを改めて要望する。

印西・印旛が良くなれば、千葉県、日本が良くなる

たきた敏幸・公式HP

ブログ・毎日更新中!
<http://www.takinowa.com>

瀧田敏幸 検索

県議会動画・公開中

たきた公式HP・takinowa
トップページ

⇒「県議会中継」⇒ビデオ
⇒ 6/25 一般質問
「瀧田敏幸」再生。

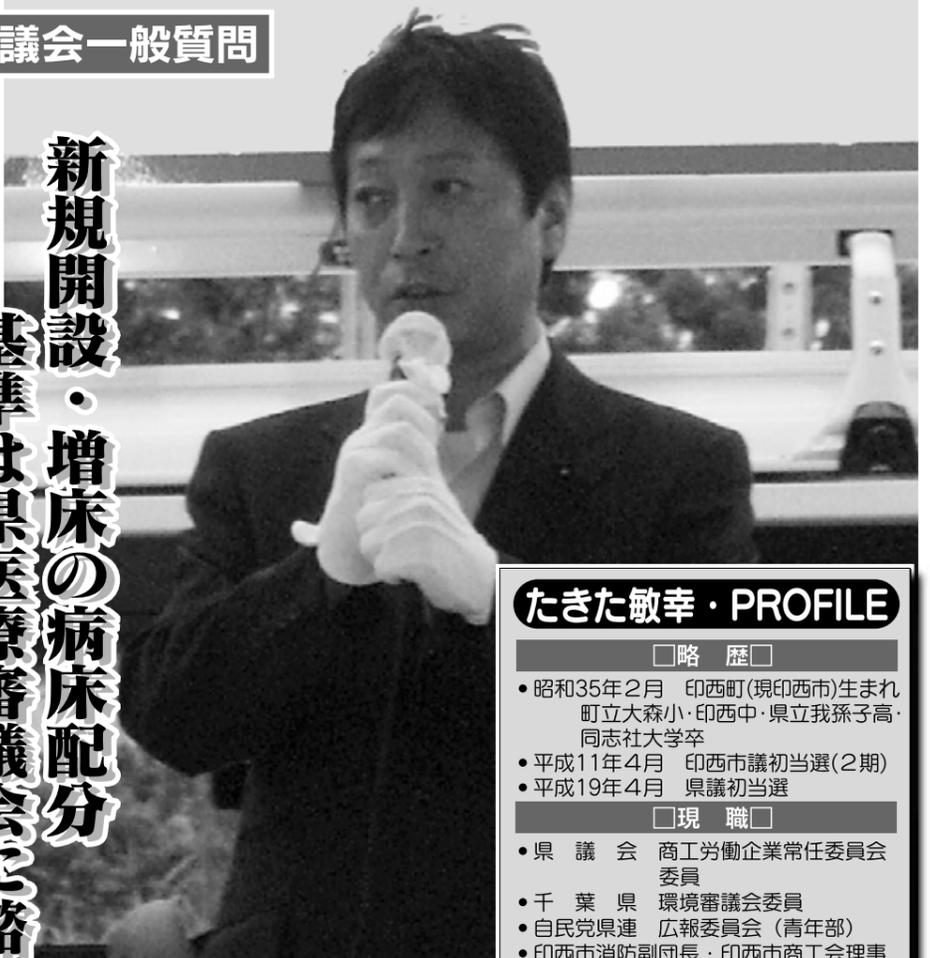
千葉県・印西市についての
ご意見、ご要望を
お聞かせください。

事務所 TEL.0476(37)4173
〒270-1326 印西市木下1521-125 2F

印西市への病院誘致を要望

■印西市特集■ 6月県議会一般質問

新規開設・増床の病床配分 基準は県医療審議会に諮問



千葉ニュータウン街頭で
政策を訴える瀧田県議

たきた敏幸・PROFILE

略歴

- 昭和35年2月 印西市(現印西市)生まれ 町立大森小・印西中・県立我孫子高・同志社大学卒
- 平成11年4月 印西市議初当選(2期)
- 平成19年4月 県議初当選

現職

- 県議会 商工労働企業常任委員会委員
- 千葉県 環境審議会委員
- 自民党県連 広報委員会(青年部)
- 印西市消防副団長・印西市商工会理事
- 千葉県ラグビー協会理事
- 自民党印西支部幹事長

瀧田 保健医療計画の見直しに伴って、基準病床数の変更はあるのか。

健康福祉部長 昨年6月に策定・公表した際見直しを行った。現在9つある保険医療圏を基本としつつ一部圏域の見直しが議論され、医療圏が具体化した場合に新たに基準病床数が算定されます。

瀧田 病床配分はどのような基準で行われるのか。

健康福祉部長 病院の新規開設及び増床計画は、千葉県医療審議会に諮り、決定しています。

瀧田 平成16年8月に52床の印西病院が廃止されて以来、印西市には病院がありません。印西市への病院誘致についてどのように考えているか。

健康福祉部長 地元市からも病院設置について強い要望を受けています。今後、病床配分を行うことになっ

た場合、各医療機関の整備計画を聴取したうえで、千葉県医療審議会で議論を踏まえ、病床を配分していくこととなります。

成田新高速と北総鉄道 「二重運賃」回避を訴え

瀧田 成田新高速鉄道開業に伴い問題となる可能性の高い、北総鉄道のいわゆる「二重運賃」問題について、県はどのように考えるか。

総合企画部長 成田新高速鉄道は現在、印旛日本医大駅から成田空港までの新線区間の建設が進められ、完成後は京成電鉄が運行します。同社では運賃体系は白紙の状態ですが、今後の検討課題としていきます。

伴う北総鉄道の運賃の動向も現段階では不明な状況です。

運賃は国の認可事項ですが、県も対応していきたい。

要望 瀧田 千葉県として、印西市の医療の現状を理解いただき、病院誘致問題解決にご協力くださるよう要望します。

成田新高速と北総鉄道 「二重運賃」回避を訴え

瀧田 県民が不公平な二重運賃により不利益を被ることとは許されぬ。民間の鉄道事業者ではあるが、公正な運賃体系という観点から京成電鉄に対し「二重運賃」とならぬよう申し入れて頂きたい。県の見解を再度伺いたい。

総合企画部長 利用者、住民にも理解できるような運賃体系が求められています。京成電鉄にとっても採算性が求められます。二つの課題がありますので、県は沿線の市や村と連携を図りながら、今後十分に話し合いをしていきたい。



6月県議会一般質問。
自席で再質問する瀧田県議

印旛―成田国道464号 平成20年代半ば完成目指す

瀧田 一般国道464号北千葉道路の印旛村から成田市間の進捗状況と今後の見通しはどうか。

県土整備部長 印旛沼から成田市13・5キロのうち、9・8キロは国、県、アクセス社が共同して用地買収や工事を進めています。6月15日現在で用地買収53%、ヨシ原造成工事、地盤改良工事、印旛沼にかかる橋梁工事を進めています。残り7・3キロも今年度新規事業化、今後調査・設計を実施し用地買収に着手します。平成20年代半ばの完成に努めます。

要望 瀧田 中心市街地の活性化問題に対し、国とそれぞれの自治体任せにするのではなく、千葉県も明確な理念とビジョンを掲げ、ハード・ソフト両面にわたる「町場再生事業」をパッケージとするなど県としても独自の取り組みをしていただきたい。また、この問題については次回以降の議会で議論したい。

地域貢献ガイド ラインの議論を

瀧田 商店街や中心市街地の活性化が課題となっているが、県はどのような考え方で取り組んでいくのか。

知事 立地条件や人口の集中度合など状況が異なることから対策も千差万別です。そのため市町村が中心となつて活性化施策を立案し、

知事は「地域商業と大型店舗の共生について、民間の問題で行政が入らない。大型店に対しては地域貢献ガイドラインを策定して協議等を作つて対応したい」という趣旨の発言をしたが、資本力のある企業だけが生き残るというのが地域経済、中心市街地空洞化の現実である。地域貢献ガイドラインについても今後、議論したい。

県政から築く

印西市の元気な明日

たきた敏幸県議

6月県議会自民党代表質問

職員給与減額措置継続で論戦

改選後の6月県議会で、最大派の自民党代表質問に岡村泰明政調会長(四街道市選出、4期)が登壇。成田空港問題、高齢者問題、医療、環境、新産業振興、教育など幅広い今日的な問題について質問。県の姿勢をたずねた。

財政問題では、同議会に追加提案された職員給与の減額措置の継続について、「6年間も職員に負担を課すことについて、どのような考えを持っているのか」と質問。知事は「財政健全化に向け、さらなる行政改革に取り組んでいく必要がある。苦渋の決断」と理解を求めました。

また、平成18年度一般会計決算見込みでは、2月議会時の収支均衡から一転、28億円程度の赤字となる見込みとしました。今後、「成田は国際空港の国際化の進展に対する県の考え方は、今後も「成田は国際空港」の基本方針の堅持を強調。増大する首都圏の国際航空需要に対応するため、成田空港連平海走路の北進整備を着実に進め、羽田と成田の有機的連携強化が唯一現実的な対応」と述べました。